

～世界リーディング・ユニバーシティに向けて～



東北大学は、1907年(明治40年)の建学以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造してきました。本冊子では、本学の様々な取組の中でも2008年度における特筆すべき取組を紹介しています。

いま、人類社会は地球規模で克服すべき様々な複雑かつ困難な課題に直面しています。東北大学は100年という歴史の中で継承してきた知の蓄積と、絶えざる研究・教育の創造を通して、前途に横たわる諸課題に堂々と立ち向かう先導力となり、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」になる決意をしています。

そのために、本学では2007年3月に「井上プラン2007」を策定し、教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織・経営という5つの柱ごとにアクションプランをとりまとめました。

その公表から2年。この間のプランへの取組により本学は着実に進化を果たしています。一例を挙げると、



教育面においては、海外インターシップ制度の積極的導入を含めて、本学独自の新たな教養教育カリキュラムの構築と実施体制の整備を進めています。研究面においては、卓越した知識と創造的総合知を備えた、21世紀の学術をリードする研究者を育成する「国際高等研究教育機構」を創設しました。また、世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログ

ラムに採択され、「原子分子材料科学高等研究機構」を発足させました。さらに、APRU、T.I.M.E.への加盟を通じた国際的プレゼンスの向上、産学連携事業等を通じた新実業の創出の先導、世界に開かれた国際水準キャンパスの整備、国際競争力を支える人事システムの構築、東北大学基金の創設など、オリジナリティに溢れた取組を進めています。

“2009年”一大学を取り巻く環境の変化とスピードがますます加速する時代の中で、「世界リーディング・ユニバーシティ」になるという目標は、一朝一夕に実現できるものではありません。しかし、これからの進むべき道程を明確にし、東北大学が果たすべき使命及び活動を皆様にご理解いただくとともに、多くの方々と共に挑戦していくことにより、社会から信頼、尊敬、そして愛情を受けられる大学として人類社会の発展に貢献して参る所存です。

東北大学総長
井上 明久

2008年4月～2009年7月のレポート

2008年(平成20年)

- 4月1日 大学院医工学研究科設置
- 4月1日 ディスティングイッシュトプロフェッサー 25名発令
- 4月2日 「井上プラン2007 (東北大学アクションプラン2008年度改訂版)」を公表
- 4月2日 平成20年度東北大学入学式
- 6月14日 岩手・宮城内陸地震(M7.2)地震災害研究者による岩手・宮城内陸地震災害のページ開設
- 7月30日、31日 オープンキャンパス
- 8月1日 ディスティングイッシュトプロフェッサー 5名発令
- 9月25日 東北大学学位記授与式
- 10月6日 川内「新」第二食堂「Bee ARENA Café」営業開始
- 10月10日 東北大学百周年記念会館(川内萩ホール)完成記念コンサート
- 10月10日～12日 東北大学ホームカミングデー
- 12月13日 第3回東北大学仙台セミナー「そらからの贈りもの」
- 12月31日 東北大学ジルベスターコンサート2008-2009

2009年(平成21年)

- 2月25日、26日 平成21年度東北大学一般選抜入学試験「前期日程試験」
- 3月12日 平成21年度東北大学一般選抜入学試験「後期日程試験」
- 3月25日 東北大学学位記授与式
- 4月3日 井上プラン2007 (東北大学アクションプラン2009年度改訂版)」を公表
- 4月7日 平成21年度東北大学入学式
- 7月30日、31日 オープンキャンパス

井上プラン2007 (2009年度改訂版)

井上総長率いる総長室が中心となって作成し、2007年度から取り組んでいる東北大学アクションプランの最新版。2007年度に策定した5つの重点課題について、堅実に実践してだけでなく、急速に変化する世界情勢および社会に適応した見直しを絶えず行い、テーマアップしていく決意の下、更なる進化を目指す内容となっている。



<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/president/open/plan/plan2009.pdf>

1 教育

『知の継承体』として、築き上げてきた知を教授する教育システムの再構築を図り、『知の創造体』を担う高度な教養、専門的な知識及び国際的な視野を備えた指導的人材を育成する。

2 研究

『知の創造体』として、戦略的独創研究と長期的視野に立つ基盤研究推進のために東北大学独自の最先端の研究体制の再構築を図り、世界トップレベルの研究成果を創出する。

3 社会貢献

「世界と地域に開かれた大学」として、東北大学の人的・知的資源を広く社会に還元して、人類社会全体の発展に貢献する。

4 キャンパス環境

『知の創造体』、『知の継承体』として本学が展開する多様な教育研究活動を支える国際水準のキャンパス環境を整備する。

5 組織・経営

『知の経営体』へと変革し、本学を取り巻く環境の変化や時代の要請に対応できる財政基盤をはじめとする経営基盤を確立する。